

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ジャンティークアリス（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 26日		～ 令和8年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 26日		～ 令和8年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の発達状況や特性に配慮したSST（集団・個人）に取り組んでいます。	様々な課題や遊びを提案しながら個々のニーズや課題に合わせた療育を展開しています。普段の遊びや課題活動に生活動作訓練や機能訓練を効果的に取り入れながら自信に繋がられるよう支援を行っています。	日々の療育内容や成長等をよりわかりやすくお伝えできる方法やツールの活用を検討しています。現在、児童発達支援を利用される方に入浴を希望される方はおりませんが、ご希望がある場合には入浴支援を行うことができる準備ができています。
2	視覚支援を充実させ、見通しを持って過ごすことで安心して生活し、想いを表現する力を伸ばせるよう支援を行っています。	日々のスケジュールや時間、場所、方法等について、個別の発達段階を考慮しながら必要性を加味した視覚支援を取り入れています。見通しを持ち安心して過ごせる環境を設定することで自主性を育み、思いを表出する機会を増やすことができるよう支援を行っています。	現在使用している視覚支援をより有効に活用できるよう充実を図っていきます。個々に合った伝え方や表出方法について模索し、より良い支援に繋がるよう努めています。
3	施設内に未就学から生活介護までの複数の事業所があり、ライフステージに沿った支援を展開できる	ライフステージの移行に伴う情報交換を充実させています。また、将来を見据えた支援を展開できるよう、それぞれの事業所の課題や事案についての情報を共有する機会を定期的に設けています。	各種委員会（感染防止、虐待防止、リスクマネジメント、地域交流）活動をさらに活性化させ、情報交換を行い、支援の充実を図っていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他児との交流の場が不足している。	多機能事業所として運営しているが児童発達支援の登録児童が少ないため、み就学児童の利用時間内での他児との交流の機会が不足しています。	施設内他事業所との連携を深め、他児との交流の機会を増やせるよう努めています。また、児童発達支援を利用していたく児童の募集を行っています。
2	日頃の療育の様子などが保護者に十分に発信できていない。	連絡帳やお迎え時の情報交換や伝達を行っているが、SNSなどの活用・更新頻度が十分でないため日頃の様子が伝わり切れていない。	法人の広報誌や事業所の季節ごとの広報誌を引き続き配布しながらSNSでの発信をより充実できるよう努めていきます。また、連絡帳などの電子化などを検討し、日頃の様子をより多く伝えられる方法を模索していきます。
3	保護者参加型の活動や保護者会等の保護者やきょうだい児を含めた支援の充実の不足	保護者の皆様やきょうだい児への支援の必要性は加味しつつ、感染症の流行と拡大に伴い、重度重複障害等を含む利用者様の利用施設である点を考慮し、施設を開放した活動を制限しておりました。	利用者様の安全安心を確保し、ご理解を頂いたうえで保護者の皆様同士の交流の機会を設定できるよう検討しております。